

2023. 3. 8

報道関係者 各位

&lt; 配信枚数2枚 &gt;

**絵画を通してウクライナ支援活動を  
「子どもたちの思いよとどけ ウクライナ絵画展」 開催**

日程：2023年3月9日（木）～17日（金）

場所：守山市立図書館 ギャラリー

立命館守山高等学校（滋賀県守山市、校長：寺田佳司）のユネスコ委員会に所属する生徒7人は、「ウクライナ支援活動」の一環として、ポーランドに避難されているウクライナの子どもたちが描いた絵画40点（予定）を、守山市立図書館にて、3月9日（木）より期間限定で展示いたします。

ロシアのウクライナ侵攻から1年。緊迫する国際情勢の情報は、メディアを通して生徒たちに伝わる機会が増えました。そのような中、本校の生徒たちは、募金活動やウクライナ問題解決に向けて考えるオンラインセミナーの開催など、さまざまな「ウクライナ支援活動」に取り組んでいます。

今回、本校とつながりがありウクライナ避難民を受け入れているサンスター日本語学校（ポーランドクラクフ市）（※1）から、ウクライナ避難民の子どもたちが描いた絵を見てもらいたいとの要望を受けました。より多くの方々にご覧いただきたいという生徒たちの思いから、期間限定で、守山市立図書館に展示させていただくことになりました。最終日の3月17日（金）は、企画した生徒たちによる展示案内も合わせて実施します。

## ■玉井芳果さん（立命館守山高校1年）のコメント

ロシアによるウクライナ侵攻が開始されて約1年。突然日常が奪われ、多くの市民が犠牲になりました。1年が経ち世間の関心が薄れてしまっている「今」だからこそ伝えたいウクライナの方々の思い。ウクライナの子どもたちは自由に描ける真っ白なキャンバスに何を描くのか。是非ご覧ください。



展示予定の絵画

記

日 程：2023年3月9日（木）～17日（金）

場 所：守山市立図書館（滋賀県守山市守山五丁目3番17号）

内 容：ウクライナ避難民の子どもたちの絵画40点（予定）の展示

3月17日（金）14時～16時は、企画した生徒たちが展示案内を行います

以上

本リリースの配布先：草津市政記者クラブ、守山市政記者クラブ

## ●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館守山中学校・高等学校 担当：田辺

TEL. 077-582-8000

## 別紙

(※1) サンスター日本語学校とは

1998年10月、サンスター日本語学校は、クラコフ第5高校でひっそりと始まりました。その時、生徒はたったの数人。授業も週一回だけでした。

2001年にクラコフ第二高等学校から部活として移転。しかし、小さい学校にも関わらず、色々な日本に関するイベントを行い、生徒の数はどんどん増えていきました。結果として学校も高校生だけに限らずに一般市民に門戸を拓けました。2005年には生徒数が100名、2009年には150名を突破。その時既にポーランド最大の日本語学校に成長しました。

2010年から、市内の中高校にボランティアとして日本語の部活や、日本の文化の発表会などを生徒たちと一緒に運営しています。

2020年現在、サンスター日本語学校には下は10歳から上は50歳までの260名ものポーランド人が在籍しています。学校の建物は大変古く、こじんまりしていますが、「私達はみな家族」をスローガンにいつも更なる飛躍を学校一丸となって目指しています。

立命館守山とは、2016年にスタートした「ドイツ・ポーランドピーススタディツアー」で訪問して以降、交換留学生を派遣するなど親交を深めています。

HP:<https://www.sunstarjapan.com/>